

2025 年度 造園学会北海道支部研究会 開催のお知らせ

＜造園 CPD 認定プログラム申請中＞

1. 開催日時

令和 7 年 9 月 16 日（火） 18:00～20:00

2. 開催場所

札幌市立大学サテライトキャンパス 大会議室

〒060-0004 札幌市中央区北 4 条西 5 丁目 アスティ 45 ビル 12 階

TEL : 011-218-7500 FAX : 011-218-7507

3. 講師

山本 紀久（株式会社愛植物設計事務所 代表取締役会長）

＜略歴＞

1940 年生れ。1963 年東京農業大学造園学科卒業。1973 年（株）愛植物設計事務所設立し、代表として経営にあたるかたわら、東京理科大学工学部建築学科非常勤講師（ランドスケープ）、東京農業大学非常勤講師（植栽論）・客員教授、日本工業大学建築学科非常勤講師（都市とみどり）に就任し現在に至る。

「風土を表す植物とそれに密接にかかわる生物を含めた“生命体”に関する知見を基軸に“本質”をきわめるための実地主義を重視する」という姿勢で、総合的かつ創造的にランドスケーピングに取り組んでいる。

主な著書に『樹木アートブック』『街路樹』『造園植栽術』などがある。



4. 研究会テーマ

「造園植栽管理における中長期的な監理システム」

～石巻南浜津波復興祈念公園及び恵庭市“はなふる”をケーススタディとして～

新たなランドスケープの計画や設計を潤滑に進めるためには、そこに関わる人たちが、同じ考え方を共有しておくことが極めて重要になる。特に一つとして同じ規格がなく、常に変化し続ける植物素材を扱う造園植栽の現場では、設計段階では想定できないことが起こるのが普通である。

その解決には、施工から管理段階を通して、発注者と設計者と施工者が直接現場に立ちあって、目標景観に向、一貫した考えの基に適切に軌道修正していく「監理のシステム」が不可欠である。

日本の都市のみどりの骨格となる公共事業における造園植栽は、高度成長期にピークを迎え、潤沢な予算と技術と経験を持った人材によって、一定のみどりのインフラストラクチャーが確立されたが、その後の安定成長期から、現在の低度安定成長期に至る間に、植物管理に関する予算と専門技術者の配置率は急激に低下した。

その一方で多くの樹木は大樹化、老木化し、計画的に更新していかなくてはならない時期を迎えている。

今後その行く末の目標景観に向けて、関係者が共有するための道筋を示すには、特に公共事業における造園植栽に対する新たな「監理システム」の構築が欠かせない。

上記は研究会テーマに対する山本講師の「造園植栽管理」における理念であり、講演では監理システムの背景や手法および事例について解説いただく。

5. 参加申込

参加希望者は下記までメールまたは FAX にて申込ください。なお、研究会終了後に講師の山本紀久氏を囲んで懇親会を開催いたします。懇親会参加希望の方は、合わせてその旨連絡ください。

＜参加申込先＞

メール : kf874@docon.jp

FAX : 011-801-1536

担当 : 福原 賢二

株式会社ドーコン 都市・地域事業本部

TEL : 011-801-1535

＜参加申込期限＞

令和7年9月12日（金）17:00 までに申込連絡をお願いします。

＜参加申込連絡内容＞

①研究会参加

②懇親会参加もしくは不参加

※会場準備の都合上、上記2項目は必ずお知らせください。